蓬門

発行
昭和39年10月28日
28号

蓬門
発行者　東郡蓬田公民館
印刷者　蟹田印刷所

九月定例村議会終る
補正予算三九六万
（内学校工事費　七二万含む）

九月定例村議会は去る九月二十六日召集され会期を三日間と定めた。

今回のおもな提出諮案は、補正予算であるが、現在まで実施済みの施設、行事に対する裏付補正が目立つている一部条例改正案として、国保減税、職員手当支給、　寒冷地薪炭手当）管理職手当支給条例は廃案となり自から補正予算は一部修正となり議決された。

管理職手当は管理職の職務の姿勢からして、責任の度合を感案し十月から支給すべく提案したが、議会では予算村会において課制を設ける時真の経緯から、今だ論議の余地もあるし、見送るべきであると云う意見が多数を〆め、違憾ではあるが廃案のやむなきに至つた。（村長談話）

主なる質問要旨

四番、

1、衛生問題について、蚊、はえの防除薬配布されているが一勢防除が出来ていないうらみもあるのでなんらかの方法で一勢防除して最高の効果を上げる考へはないか。

2、中沢診療所の再開はどうなつているか。

村長、

1、防疫委員の協力を得て取扱方法を研究効果を挙げるようにしたい。

2、医師の配置が中々困難な状況で県連合会に再三依頼し、目下努力中である、

三番、

1、消防団の定数か各分団まつ〳〵である。揃える考えはないか。

2、蓬田小の統合校舎完成後、旧中沢蓬田両校舎を如何に活用するか。

村長、

1、各分団の定数不揃ゝは今のことでなく、各部落の特殊事情もあり早急増減するのは無理がある、而し将来研究善処する。

2、今のところ考えていない、而し教育行政水準を高めるため将来組合学校をもゝ覚悟であるゝで相手方青森市とよく協議して行く考えである、

十四番

1、堀井戸で、或る議員が心配して作業の進捗状況をきいたら執行権の干渉ではないかと云つたそりだが事実か。

2、議員に対し差別している印象を受けるかどうか。（例えば行政上について、案内状を甲に出して乙に出さないようなことゝ。

3、新校舎は鉄筋二階建の構想で、敷地送定に三ケ所杭打し、一五万円かゝつている。結果的に小舘野に平屋耐火建築を行つている。更に堀井戸に追契約として十一万追加している。学校も建たゝぬ中に三〇万円近い無駄金を費つているが実情をきゝたい。

村長、

1、村事業執行に当り審重を期してやつている積りだ、片言のようなことを議会に取り上げることは困るとは思つていない。臆測のような質問は遺憾である。

2、差別などはしていない。敷地の地質調査はその都度議会の決議に基づいて実施したことで単独ではない。小舘野は敷地もあるので半屋にした。堀井戸の再契約については常任委員長の協議の結果再契約することにした。

九番、

1、来年四月新校舎が出来る、せまい危険が伴う道路を通学することになる、一方で児童を乗し交通安全を叫ばせ、一方で危険な道路を通学させるのはうゝはらではないか。

2、国有林開放が当面の重大関心時である。この際対策委員会を設け推進する考えはないか。

教育長、

1、警察始め関係機関と協議指導を受けて実施している。旬間中毎日やるとは限らない各校の自由意志でやつている。充分注意して事故のないようにする。

村長、

2、各町村をみてもそのような委員会を設けていないし、目下のところ各県協議会と国との接渉段階で、問題が具体化に伴い、関係町村で実せん母体をつくるようになれば必姿かと思れるが現段階では設置の要かないように思れる。

この稿を以て出張服命書に替さして戴きます。

九月二十四～五日は旭川において北海道、東北ブロック会議が開かれ、それに参加すべく二十三日夕青森を発つた。

乗船は八甲田丸で流石は新鋭船で豪華なものだ、私の旅は常に、汽車がどうの、船かどうのと差程苦にならない。

北海道の今年は冷害で稲作も殆ども六分作だろうとマスコミされていた。車窓からみる稲はブス青黒く、所々黄ばんだようにみえるが茶カツ色で黄ばみとは思えない。

ヤラレていることは事実らしい。

今頃北海道を何辺となく旅したが、刈取られ六段階もあるハサ掛けで、美しき脈に造られ風物詩の一つとして思つた。

発売初日申込したら、満配でとれないとのこと、物はためしと思つて隣の駅に行き求めたら売つてくれた。

有難かつた。

どんな取扱方法か知ろうとするものではないが不思議だ。

流石北海道だ。二時間二十分ノーストップの区間もある。

北海道の今年は冷害で稲作も殆ども六分作だろうとマスコミされていた。

車窓からみる稲はブス青黒く、所々黄ばんだようにみえるが茶カツ色で黄ばみとは思えない。

ヤラレていることは事実らしい。

今頃北海道を何辺となく旅したが、刈取られ六段階もあるハサ掛けで、美しき脈に造られ風物詩の一つとして

函館から特急おゝぞら号に乗る、今回の券の取り扱い方について不思議に思つた。

予定した時刻までに運んでくれゝばよい。だから単に眠つておればよい。

三十九年度敬老会
盛大に行う　併せて叙勲伝達
国保被保険者表彰

九月十五日、老人の日をもつて三十九年度敬老会を蓬田中学校々堂で開催した。

蓬田村の七十才以上の老人はその中の最高年令者、高田はるさん（郷沢九〇才）　名で に武井村長より記念品が贈られた。

なほ大平洋戦争における戦死者にジョ勲され、それ〴〵家族に伝達された。

国保被保険者に対し、それ〴〵感謝状ならびに記念品を贈り表彰した。

武井村長が、蓬田村の発展は皆さんのような年よりがよく若い人を指導しよく子女の教育に努めて呉れるからである。

益々長生きして、長い経験を生かして若い人々によりよき指導を賜るようお願いする　と激励のことばがあり

知事代理、東青福祉事務所の工藤課長のお祝のことばがあり各小、中学校の遊戯を裁露され盛会裡に一日を楽しみ散会した。

ジョ勲者、勲七等、越田源一郎

〃〃〃〃、加藤源次郎

〃〃〃〃、浜田忠作

国保被保険者表彰

多額国保税優良納期完納者、健康家庭であること

八戸要助（アミダ川）

坂本市郎（長科）

大宮正一（郷沢）

飯田由造

細谷与三

工藤辰之助（瀬辺地）

（蓬田）

（郷沢）

北海道東北公民館
ブロック会議に参加
（坂本公民館長。）

この稿を以て出張服命書に替さして戴きます。

九月二十四～五日は旭川において北海道、東北ブロック会議が開かれ、それに参加すべく二十三日夕青森を発つた。

乗船は八甲田丸で流石は新鋭船で豪華なものだ、私の旅は常に、汽車がどうの、船かどうのと差程苦にならない。

北海道の今年は冷害で稲作も殆ども六分作だろうとマスコミされていた。

車窓からみる稲はブス青黒く、所々黄ばんだようにみえるが茶カツ色で黄ばみとは思えない。

ヤラレていることは事実らしい。

今頃北海道を何辺となく旅したが、刈取られ六段階もあるハサ掛けで、美しき脈に造られ風物詩の一つとして

氏は三年前再記不能と云われる病気に冒かされ闘病生活から脱皮し、奇蹟的に完全となり、現在、平常通り執務し今回帯広まで出張するのだと云う、病名は蜘蛛網ト破出血症と云つて十のものは八、九まで死と云う、脳出血より恐れられている病気で現に私の後輩でその病気にかゝり発病一週間で意識不明のまゝ二十六才で死んだことを思い出し、よく生きたものだと心の中で思つた。

二週間は全く意識不明であつてよく生きたものだと本人も奇蹟的だと云つていた。

その病気は若いから、年をとつているからとの区別がないそうな。

氏は元より細かい神経をつかわず、豪放型だから死線を脱出したかも知れない。

あの酒豪も今は一滴もとのこと、医者は一合位はよいと云うが、そんな半んぱはやらんが増だとぶつつりやめたとのことやはり辻村氏らしいと感心し

私はなぜ今回参加したかと云う大きな理由は毎年本村から北海道方面に季節労務者として出稼する青少年を現地で如何に社会教育をしているかその実態を知るためであつた。

分科会出席者は殆と地元北海道で、青森二名山形二名それだけで他は別な分科会に出席した。

討議要旨

社会教育を推すめるには、社会教育団体との連絡強調は勿論、あくまでも助成と育成に努めなくてはならない。

その理由として、不特定大衆の相手は中々困難性があるからやはり特定の団体の育成に努める。

団体育成のポイントは指導者の育成強化と積重ね方式をとる。

二十五日全体討議、その内容はスペースの関係で次回報告する

出稼者については現地職場において、社会教育の場を与えているところもあるか全体的にまだその域を脱していない状況で、今后社会教育の場を現地で与えて呉れるよう強く要望してきた。

午后は九ツの会場をもつ分科会に別れそれぞれ討議した。

私は七分科式に風し討議に参加した。

七分科のテーマは農漁村における各種団体と如何に連けいし社会教育を推進するか。

午后は九ツの会場をもつ分科会に別れそれぞれ討議した。

私は七分科式に風し討議に参加した。

七分科のテーマは農漁村における各種団体と如何に連けいし社会教育を推進するか。

× × ×

明治の初めから、東北。北陸。中国とこの地に渡つた人々は言語に絶する苦闘の連続であつた。

未開の地を切り拓き、今日までの発展せしめた屯田兵、その他の人々の開拓精神があつたればこそである。

世の人々は美しく飾られたものゝ備いた街をみても単にそのものだけを知る然し古きに道をたづね、現在に至つた姿を感じる人は少い。

北海道の過去を知り現在想にを寄せるなら自からその人々の苦闘の姿も判るし、如何に大自然と闘い。

工夫と研究に努力してきたかはあまりにも理解出来ると思う。

北海道の姿はこれでよいとは云えない

これからの若い人々は、よく先人の開拓精神を理解し高度な科学と技術によつて近代化の北海道にしなくてはならない。

優勝
蓬田小学校
村内小学校
野球大会
珍プレー続出

九月八日、村内小学校対抗野球大会が、中学校グランドで開かれ、秋空に白球が飛びときならぬカン声がグランド一つはいみなぎらせた。

第一試合、広瀬、―蓬田、　蓬田が弟　試合をものにして決勝へ、第二試合は高根、―中沢、中沢の決勝進出、午后から昨年同様蓬田、―中沢、で優勝を争つた。

前年、両校とも互角の試合運ひであつたが、二回裏中沢は敵失による一点を先取しそのまゝ逃切るかのようであつたが四回の表中沢の投手にようやく合せ内外に集中打をあびせ、内野の乱れ乗じ一挙七点をものにし試合を決定的にした。

その后後半、中沢はよくねばり、好投する蓬田投手から三点をものにしたが七点の大量点に追付けず七対四で蓬田の優勝となり、昨年の優勝中沢を雪辱した一戦であつた。

★　★　★

演、演題開拓精神、

要旨、

北海道の今日かくも発展したのは、アイヌ民族の永住の中から、自然と激しく闘いつゝ生活を支いてきた教訓を日本民族はよく生かし、改良研究の結果である。

それだけ優秀な民族であるは勿論であるか、そのヒントを与えてくれたアイヌ人を忘れてはならない。

今や道庁挙げてアイヌ民族の保護は勿論、記念館を建設し、その文化財を永久保存し併せて開拓資料文献を集め保存すべきである。

幸い町村知事も賛同し、着く準備中である。

私はこの仕事を一生の誇りと思い努力を続けている。

野菜共同出荷図に当る
商工会 婦人会 一丸となつて

長い〳〵間、わが村の農家から野菜の共同出荷を進めべきであると、毎々農協に働きかけてきたが、なにがあいろになっているのか中々腰を上げる気配なく、特に婦人会の総会では毎年提案されてきた。

この度商工会では早くもこの問題に着想し、農協を通し、この問題の具体化を五三にわたり申入れしたところ、農協側では理事会を開きその結論をとりまとめた結果、現段階では取扱いすることが不可能との回答された。

よつて商工会では蓬田全体の動きとして共同出荷の取り扱いに肚をきめ、十数回にわたり各部落毎に婦人会を中心とした協議会をもつ共同出荷への体勢をかためた。

毎週二回各部落一ヵ所に集結し商工会の車で青森市場へ運ぶことになつた。九月十八日その長い夢が実現し、初出荷となり回を重ねる度に人気が増し、月収二十五万〜三〇万円の金が蓬田村へ流れることになつた。

更に出廻期の安定価格を保つため、本年度はその足がかりとして新潟県へ七千本の大根を出荷した。

来年度は作付け計画と品種の改良、技術の向上に重点をおき、年間五〇〇万の収益をあげるとはりきつている。

（蓬田商工会長工藤与三郎談、筆責豊水）

一婦人談話

今まで家で食べ余つたものは豚のエサや捨てたりして非常に無駄だと思つていた。

今回この仕事をやつてくれたので少しのものでも売ることが出来るし、差程手間もかゝらず収入になるので家計は大助りです。

隣りの後潟農協ではずつと前からこの仕事はじめ相当の収入を上げているときいて、なぜ蓬田農協だけやつてくれないのかとうらめしく思つていたが今回蓬田商工会でやつてくれて感謝しています。

来年度は計画的に作付けし収入を上げたいと思つています。

◇　◇　◇

重度精神薄弱児扶養手当法について

昭和三十九年九月一日から重度精神薄弱児に対して月額壱千円を支給することになりました。

「重度精神薄弱児」とは、二十才未満であつて精神の発達が遅滞しているため、日常生活において常時の介護を必要とする程度の状態にある児童のことです。

申請手続には診断書等が必要ですが新しい法律ですから若し該当すると思われたら民生委員の方か役場民生係まで至急御相談下さい。

福祉年金の時効について

昭和三十四年十一月一日に七十才以上であつた人や重い身体障害者、あるいは母子世帯には福祉年金をそれぞれ支給してきました。

丁度今年の十一月一日で満五年を迎えることになりました。

福祉年金は、福祉年金が貰らえる資格が出たときから五年間をすぎると請求手続しても時効によつて支給されないことになります。

五年前の昭和三十四年十一月一日に貰える資格のあつた人でまだ手続をしていない人はすぐ相談して下さい。

1、老令福祉年金、
明治二十二年十一月一日以前に生れた人に支給します

2、障害福祉年金、
昭和三十四年十一月一日で重度（一級）の障害のある人、（内部障害、精神障害を除く）に該当する人、

3、母子福祉年金、
母子家庭で夫と死別した妻が昭和三十四年十一月一日に義務教育終了前の子供の生計を維持する人

たゞし昭和三十四年十一月一日で二十才を超える人

民生係

農村青年建設班補導者中央講習会に参加して

鈴木昭子

私は茨城県で行われる、全国農村青年建設班補導者講習会に参加する為、七月九日午後八時三十分、「急行北斗」にて青森を出発しました。

車中で一夜を過した翌朝、（十日午前）八時十分水戸駅に下車した。

水戸駅は青森駅よりも、小さい方でしたが、初めての一人旅でもあり、少しとまでいを感じた。

会場のある茨城県東茨城郡内原村と云う所は、水戸駅よりバスで約四十分の所である。

凪過ぎ、ようやくの事で会場になつている、農林省農業機械研修所に到着する事ができた。

その時から私達は、一済この研修所の規則通りに従う様に云われたのです。

宿舎からの外出はもちろん、男子は酒タバコも厳禁との事であつた。

受講料を収めておりながら、協会への要求も意見も聞き入れてくれない。

朝六時の起床と同時に、国旗、班旗掲揚、女子は三人だけでしたが、七時半迄のトレーニングも男子と一諸だつた毎日、構造改善と近代農業のあり方の講義を受け、時間に余ゆうのない日々であつた。

最初は、こんな所に二週間もいるのかと、皆ぐちをこぼしておつた様ですが誰から言うともなく、「よし頑張ろう」それで最後には、農林省に、なんとでも文句を云つてやると、云う声まで出たのです。

そのきびしい生活も、今になつて見ると、意義深いものであつたと思つております。

文句のある人は帰れと云う様な、産業開発協会の最初の言葉だつたのです。

農林省で主催しておるのですが、産業開発協会に委託しているので、一済協会の方に任かせておるのだそうです、それからの私達講習生にとつては、予想もしなかつた生活が始つたのです。

云い文は最後に聞く。

全国各地の郷土話や、青年運動などを開いて、中でも岩手県の青年運動の盛んなのには、驚くばかりです。

県内に建設班だけでも、十五、六もあるのだそうです。

二十三日の午後二週間共に生活して来た、講師の先生や、全国の皆さんとも別れて、研修所を出たのです。

今回は、新規の補導者講習会でしたので、全国から四十九名、北は北海道、南は鹿児島まで、集りましたが、青森からは私一人だけでしたので、津軽弁が出せず窮屈な思いでした。

上野から、二十三日午後八時三十分に出発し、二十四日青森へ着いた時は、さすがにほつとした気持ちでした。

私の茨城行きは、村長さん初め、関係者の方々に一方ならぬお世話様に、なりました事を心から感謝致しております。

「農業の労力に思う」

八戸良次郎

この前の新聞に大洋漁業が、青森港にエサ工場を設置すると云うことと県経済連もと云うことで競合の記事がのつていた。

最近、水産会社が陸に上つたと云はれているが、大資本の之等がその資本に物を云はせて、農業の加工面に大きな設備を作つてのり出して来た。

当然その生産性も高いことである。

之は小さな商店が沢山あるところに大資本のデパートが進出して来たと同じ事である。

従来この様な場合は小さな商店では主人から、奥さん子供まで店の仕事をやつて家内労働の犠牲のもとに、沢山の店員をもつデパートと対抗して来たが、それでも大きな経営に次第に喰はれてゆく実情である。

今迄の農業も一家か総出で働き、しかも暗い内に野良に出て暗くなつて帰る一月一日で重度という、つらい労働でなり立つて来た。

若い人が農業から離れて他の産業に走り、娘達が、農家へは嫁に行きたがらないと云うのは当り前で、現在のように労働が高く評価されるとき、労働の価値を無視していた農業から優秀な労働力がその価借を高く買う所へ流れてゆくのは当然である。

私は思う、然し農業か宿命的に優秀な働き手に充分な価値を支払うことの出来ぬものであろうか。

経営の改善、機械力の導入、共同経営的な道への改善によつて、他産業以上にその報酬があり得るものになるのではないか、

農村の民主化は働く人の労働を余りに軽視している事を考え直し、又勤労は美徳なりと云うカモフラージュのもとに労働を効率的にし、価値のあるものでなくしていたことを心から改善しなければ農村の民主化は出来ない。

粗食と重労働で表現された日本の農業を改善する為には、今日労働の価値が高く評価されている時に聖徳太子以来とも云はれている昔ながらの農業経営（誇大かな、）に徹底したメスを農家の人々も一緒になつて入れる時であろう。

蓬田村女子青年建設班開設

毎年好評を博してきた女子青年建設班を今年も昨年同様、蓬田小学校建設班教室で開くことに決定、その予算措置も完了した。

青森方面の教室に通ふ人からみて受講料はただし、旅費はかゝらず、一般教養と技術を身につけることが出来る。

多数の女子青年の受講を望んでおります。

開講月日　十二月一日〜翌三月末日、
開講場所　蓬田小学校建設班教室、
科目　和裁、洋裁、あみもの

女子設建班補導員決る

開講以来ずつと補導員を勤めてきた坂本明子さんが家庭をもつことになり補導員を辞めることになりその後任を探したところ鈴木昭子さんが承諾し、七月中央研修を終えて帰つた

「嫁の里帰り」

農家の主婦は何才になつても里心が抜けきらないと云う。

果してそうでしようか。

或新聞に出たある主婦からの投書だと私はよんだ。

麦の刈取入れから、田植えまで毎日が戦争のように忙しい、それが一段落すると、私はきまつて里にゆきたくなる。

農家ほ年中忙しい、それを押し切つて里帰りするが、わがまゝであろうか、たまに里でくつろぐ時の嬉しさ、仕事からも家庭からも解放される気持は何とも云いようがない。

サラリーマンの家庭の楽しみは農家にはないのだから？　周囲の人も理解をもつて、気持ちよく里に行かせてほしいと、この様に書いてあつた、皆様方はどうでしょう。又、自分の娘の気持になつてよく考えてみては如何なものであろう。

二〜三年前、私が文芸春秋を長い間購売していた時に、文春の一番先の方に写真で「実家なればこそ」と云うのがのつていた事を思い出す。

家中の者にみせて、なる程とつくづく感じたことがある、それはお腹の大きい里帰りの嫁がエロリの側で横に寝ている姿である。

全く実家なればこその姿勢であると：：：こうした解放感を味わせてくれれば、農家にも嫁いで来てくれるだろう三ちやん農業の傾向が強まつてきた昨今、お嫁さんの仕事も増える一方で仲々里帰りの機会も少いであろう。

「何時までも新しい嫁さんのように里にゆく必要はないだろう」等といわず気持ちよく送りだしてやりたいものだ次回にスペースに恵まれたならば何回かに分けて「婿を大切に」と題して私の考えと記憶をまとめたものをのせてみたい

中沢診療所の開診を

昨年春より中沢診療所は医師不在のため閉鎖されて南部蓬田住民は不便を感じている。

せつかくの診療所を空屋にして置くと云うことはもつたいないと思う。

我々の村を健康的文化的な村にするためにも労働力を高め経済的に向上するためにも早速医師の手配をしてもらい村会議員さん、診療所の委員の方々も村長さんと一体になつて中沢診療所の開診に努力してもらい度い。

南部の住民は首を長くして待つてます

南部住民より

○蓬田村職員組合青年婦人部結成大会開く

来る八月二十七日午后四時より蓬田村役場二階に於て部員十四名（男八人女六人）参集のもとに蓬田村職員組合青年婦人部の結成大会を開催し左記目的及び事業並びに役員を決定し発足した

目的　この部は部員の親睦を図り文化的地位並びに知識の向上を図り自治行政の民主化につとめる、

事業①部員の教養、技能の向上及び健康増進に関すること、
②部員の団結を強め組合の下部組織として機能を発揮する、
③部員のレクリエーションに関する事、

役員、
部長　中川信義
副部長　佐井一夫
書記　久慈孝子
会計　中村幸八
坂本忠弘

遺族等援護法等の一部改正について お知らせ

戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律は昭和三十九年七月九日法律第一五九号をもつて公布されました、この概要は次のとおりです。

(1)軍人が大東亜戦争の戦地勤務においてかゝつた傷病で故意又は重大な過失によることが明らかでないものについて公務上の傷病とみなしていたが、これを軍属の大東亜戦争中の戦地勤務にかゝつた傷病及び軍人軍属の日華事変中の事変地勤務においてかゝつた傷病にまで拡大し、遺族年金および弔慰金並びに第六項症以上の傷病者には障害年金を支給する。

(2)軍人軍属が日華事変以後の在職期間内に公務傷病に併発した傷病により在職中又は退職後二年（結核精神病は六年）以内に死亡した者の遺族および引続き六ケ月以上戦地等に勤務し、戦地等の勤務終了後一年（結核、精神病は三年）以内に死亡した者の遺族には遺族一時金十万円を支給する。

ただし死亡した者の傷病が公務傷病又は戦地勤務が全く影響がない場合および公務扶助料又は遺族年金等を受けている者、将来受けるべき者がある場合を除く。

(3)昭和二十一年二月一日（死亡した者が同日以後のときは死亡の日）以後昭和二十七年四月二十九日までの間に再婚し、同期間中に離婚により再婚を解消した妻および同期中に氏を改めて再婚し、離婚により婚姻を解消した父母、祖父母並びに入夫婚姻による妻の父母に遺族年金等を支給する。

(4)陸海軍部内の判任文官および他省からの従軍文官等を軍人とし、従来恩給法の適用を受けられなかつた内縁の妻、別戸籍の父母等に遺族年金等を支給する。

(5)昭和二十年九月二日以後復員するまでの間に勤務に関連する傷病にかゝり、これにより死亡した者の遺族にも弔慰金を支給する。

(6)六十才未満の父母等で増額分を停止されている者の制限を徹廃した

2、未帰還者留守家族等援護法について（昭和三十九年十月一日施行）昭和二十年九月二日以後復員までの間に勤務に関連する傷病にかゝり、これにより死亡した者の遺族にも特例遺族年金又は特例扶助料を支給する。

3、旧軍人等の恩給等の特例に関する法律について（昭和三十九年十月一日施行）昭和二十年九月二日以後復員までの間に勤務に関連する傷病にかゝり、これにより死亡した者の遺族にも特例遺族年金又は特例扶助料を支給する。

4、戦傷病者特別援護法について（(1)は昭和三十九年十月一日施行(2)以下昭和三十九年四月一日施行）

(1)公務傷病の範囲を遺族等援護法と同様拡大した。

(2)葬祭費を五千円から六千円に増額した。

(3)略治等により療養を中断した後再発した場合にも療養の給付等を行う。

(4)船舶運営会の乗組船員、特殊勤務の満鉄職員動員学徒等には療養の給付療養手当の支給および葬祭費を支給し、陸海軍の判任文官、従軍文官等には更生医療補装具の支給および国立保養所への収容に関する規定を適用する5。

5、未帰還者に関する特別措置法について（昭和三十九年十月一日施行）陸海軍部内の判任文官および他省からの従軍文官等も対象となつた。

詳細は（蓬田村役場民生係）にお問い合せください

青森行政監察局
蓬田村各団体代表者と懇談会開く

九月二十九日午前十時より青森行政監察局より、石川祐三、高坂両監察官と県側から小笠原総務部参事、中西主査来村役場議事堂において村各種団体代表者と懇談会を開いた。

監察局側から仕事の内容等について一般によく知られていない？面などPRし、国の行政、県の行政等について、一般住民の不利役の面があつても泣き寝入りする面が多々ある。

それ等をよく解明して住民に不利役にならぬよう、各関係者と話合解決してゆくのが監察局の仕事であると説明録音をきかせその内容を解明してくれたそれから村代表と事実に基づく問題を出し合い、今後の行政に対し苦情ないよう話し合いし、正午一応話し合いを終り午后から一般苦情相談所を開いた

中沢養鯉組合鯉とり風景
仲秋開田用水堤にカン声あがる

中沢養鯉組合では開田用水堤に三十四年鯉の一年魚を放流し育成してきだがどれだけ成長しているか去る九月十六日～十七日にかけ鯉とりをはじめた十六日は落水を諸準備に終り翌十七日はいよいよ大望の鯉とりとなつた。草むらのため鯉の集結に苦労したが、落水につれ鯉は集結場所に追結められ水しぶきを上げ背を出すようになつた一同は勇んで堤に入りたもをもつてすくろうも中々入らず、鳩首一計とか、三枚式さし網張はるることになつた。一方から追(結)められた鯉は一勢に網にかゝりたやすく捕獲された。放流時五～六センチの鯉がなんと四十五センチに成長し、そ成果が確認された。更に将来の希望のもたれることは、一、二年生位の初鯉の発生していることろからみて完全自然ふ化していることが証明されたからである。よつて種鯉の意味で完全捕かくをさけ大小五十位上げて今年の採鯉を終つた捕かく準備中、水中や土手に沢山の釣はりや糸が発見され相当釣り上げられたことも想像された、今后は充分監視と共に若しかしる悪質者が発見されたときは厳重な態度でのぞむことを意織統一された。

国民年金法の改正についてお知らせ

請求の受付は8月1日から

支給は9月分から

結患者と精神病者にも
吉福祉年金(障害年金)が支給され

一 級障害

結核性疾患による身体の機能障害（呼吸器の機能の障害にあつては、結核性疾患以外の疾患によるものを含む。）で、日常生活にも常時介護を必要とする程度のもの。

結核性疾患で、長期にわたる安静を必要すとる病状が持続し、日常生活にも常時介護を必要とする程度のもの。

精神の障害（精神病質、神経症及び精神薄弱によるものを除く。）であつて、日常生活にも常時介護を必要とする程度のもの。

二 級障害

結核性疾患による身体の機能障害（呼吸器の機能の障害にあつては、結核性疾患以外の疾患によるものを含む。）で、日常生活に著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの。

◇結核性疾患で、長期にわたる安静を必要とする病状が持続し、日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの。

◇精神の障害（精神病質、神経症及び精神薄弱によるものを除く。）であつて日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの。

◎支給の要件

1障害福祉年金（一級に該当する障害者のみ）

○初診日（その傷病について初めて医師の診断を受けた日）が昭和36・4・1日前であり、なおつた日（その症状が固定し、治療の効果が期待できなくなつた日）が昭和39・8・1日前であるとき。

○初診日が昭和36・4・1日以後であり、なおつた日が昭和39・8・1日前であり、その傷病が三年経過した日においてもなおらないときは、その三年目で一級又は二級に該当するとき。

2障害年金（拠出年金の被保険者のみ）

○初診日が昭和36・4・1日以後であり、なおつた日が昭和39・8・1日前であるとき。

○初診日が昭和36・4・1日以後であり、その傷病が三年経過した日においてもなおらないときは、その三年目で一級又は二級に該当するとき。

◎請求の手続

裁定請求書に、戸籍の抄本、住民票の謄本、障害年金廃疾認定診断書、レントゲン写真所得状況届等を添えて、市町村長を経由のうえ、県知事に提出して下さい。（請求書等の用紙は市町村の役場に備えてあります。）

なお、障害の程度、支給要件その他おわかりにならない点は役場民生係えお問合せ下さい、

8・1日前で、国民年金の保険料を滞納していないとき。（昭和36・4・1日現在で五十才以上の方は保険料の納付の有無に関係ない。）

○初診日が昭和36・4・1日前であり、昭和39・8・1日においても、その傷病がなおつていないとき。

○初診日が昭和36・4・1日以後であり、昭和39・8・1日においてもその傷病がなおつていないが、国民年金の保険料を滞納していないとき。（昭和36・4・1日現在で五十才以上の方は保険料の納付の有無に関係ない。）

○初診日が昭和34・11・1日前であり、なおつた日が昭和39・8・1日前であるとき。

○初診日が昭和34・11・1日から昭和36・3・31日の間で、なおつた日が昭和39・8・1日前であるとき。

○昭和36・4・1日現在で五十才以上で、初診日が昭和36・4・1日以後であり、その傷病が三年経過した日においてもなおらないときは、その三年目で一級に該当するとき、

○初診日が昭和36・4・1日以後であり、なおつた日が昭和39・8・1日前であるとき。

玉松海水浴場開き写真コンテスト入選作発表さる

昨秋より整備中の玉松海水浴場が完成し、今夏、七月二十五～八、三日間にわたり海水浴場開きをし、盛大に幕あけ、その後も連日の行楽客で玉松海岸は賑い土曜日曜は東風でない限り特に人出も多く、盛況裡に八月末幕を閉じた。

浴場開きの呼ものであつた写真コンテストの応募作品は一〇〇点を数い。富士フイルム社の審査の結果左記の通り入選者が決定した。

記

特選

モデル
福田正弘
青森市大字浦町字奥野207ノ9

壱等

水着の女
富田巖
青森市塩町14

貳等

夏の女性
谷口源一郎
青森市浦町字橋本139ノ1

参等

漁夫とモデルさん
地名一二三
青森市浜町三ノ百九

参等

玉松台海水浴場開き風景
福田正弘
青森市大字浦町字湿野

……三面ト段の写真……